

# ‘紅まどんな’で問題となる病害虫(果樹カメムシ類)

‘紅まどんな’の新梢や果実を吸汁する果樹カメムシ類には①チャバネアオカメムシ②ツヤアオカメムシ③クサギカメムシの3種がいる。ここでは、主に、これら3種による果実被害の特徴と防除のポイントを紹介する。

## 果実被害の特徴



チャバネアオカメムシ

ツヤアオカメムシ

クサギカメムシ

写真1 果樹カメムシ類の種類別の‘紅まどんな’被害の状況(平成25年9月24日撮影)  
注)9月14日に果実をネットで被覆し、各種カメムシ類成虫を5頭ずつ接種。10日間接種後の果実の状況



・写真1のように、どのカメムシの被害も**早期の着色ムラ**となり、カメムシの種類による症状の差はない。  
・カメムシとよく似た被害に、**果実吸蛾類による被害**(写真2)がある。この場合は被害の**中央部に肉眼でもわかる丸い穴**が開いているのでそこで見分ける。

平成24年8月20日撮影

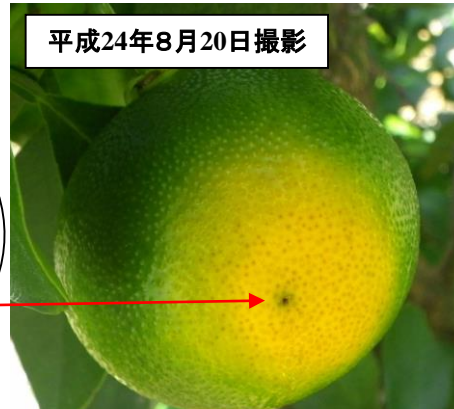


写真2 果実吸蛾類による被害果

## 防除のポイント

1. 主な発生時期: 9~10月
2. 防除時期  
成虫の果実での寄生を確認後
3. 有効薬剤
  - ・スタークル/アルバリン顆粒水溶剤(2000倍)
  - ・テルスターフロアブル(3000倍)
  - ・ロディー乳剤(2000倍)
  - ・アドマイヤーフロアブル(2000倍)

・発生量・時期は**年次間差大**  
→病害虫防除所等の**予察情報**を入手し対応  
・**多発した場合には被害が甚大**  
→散布7日後に**虫の寄生**を確認  
多い場合は**追加防除**

